

安全性と快適性を高める革新的なシステム

ニューパナメーラ スポーツツーリスモは標準装備とオプションの広範なアシスタンスシステムを備えます。最も重要な安全システムのひとつがオプションのナイトビューアシストで、熱探知カメラを使用して人や大型動物を検知し、コックピットにカラーの警告を表示します。アダプティブクルーズコントロールを含むボルシェ・イノドライブコンフォートシステムは独創的な装備で、3D高解像度ナビゲーションデータに基づいて、次の3kmの最適な加速値と減速値、ギア選択、およびコースティングフェーズを計算して適用します。その際に、この電子制御コパイロットは、コーナー、勾配、制限速度を考慮します。レーダーとビデオセンサーが他の車両と制限速度を検出して制御過程に組み込みます。

重大な状況を事前に回避するナイトビューアシスト

オプションのナイトビューアシストは、フロントの熱探知カメラがあらゆる生物の赤外線放射を検知します。この情報に基づいてコントロールユニットが“温度差画像”を計算し、ボルシェ・アドバンスコックピットの右側ディスプレイ(“カー&インフォ”)に結果を表示します。熱探知カメラが人や動物を検知すると、白黒画像がイエローに変わります。このカラーの変化によって事前警告を直感的に認識することができます。

システムが危険な状況と判断すると、マーキングがレッドに切り替わります。同時に“スピード&アシスト”メータ(レブカウンターの左)に、“pedestrian warning”(歩行者警告)または“animal warning”(動物警告)の文字とシンボルが表示されます。野生動物の行動は予測できないため、システムは人と動物を区別し、警告音も鳴らします。スポーツツーリスモにLEDマトリックスヘッドライト(PDLS Plus)がオプション装備されている場合は、危険と分類された歩行者がヘッドライトのマトリックスビーム機能によって短く3回照射されます(歩行者がこのフラッシュ機能に気付くことはほとんどありません)。これはブレーキングやコーナリング中の識別性能を大幅に改善します。できるだけ迅速に減速するために事前にブレーキも準備されます。

ナイトビューアシストは250km/hまでの速度で作動します。市街地では“animal warning”(動物警告)を自動的に解除して、リードにつながれた犬などによる誤作動を防ぎます。

アダプティブクルーズコントロールを備えたボルシェ・イノドライブが道路を予測

アダプティブクルーズコントロールを備えたボルシェ・イノドライブは特に独創的な装備です。システムは、ナビゲーションデータに基づいて次の3kmの最適な加速値と減速値を計算し、エンジン、8速PDK、およびブレーキシステムをそれに合わせて作動します。この電子制御コパイロットは、このようにして、コーナー、勾配、速度制限を考慮し、レーダーとビデオセンサーで現在の交通状況を検知して制御プロセスを調整します。ボルシェが独自に開発したイノドライブは、効率性を改善し、ナビゲーション予測データによって、コースティング、トレーリングスロットル・フューエルカットオフ、シリンダー・シャットオフ(パナメーラターボスポーツツーリスモ)、およびブレーキングなどの車両機能をこれまで以上に効率的に制御して、燃費を改善します。

さらにボルシェ・イノドライブは、アダプティブクルーズコントロールの使用時の快適性とダイナミクスにおいてもメリットをもたらします。システムは環状交差点なども認識し、前もってその条件に車速を調節します。“スポーツ”モードの作動時には、イノドライブもダイナミックなマップに切り替わります。従来のアダプティブクルーズコントロールと同様に、レーダーとビデオセンサーが前方車両との距離をモニターして連続的に車間距離

を調節します。

高速道路の快適性と安全性を高めるアダプティブクルーズコントロール

昨年半ばに最新のパナメーラが導入されたとき、従来のアダプティブクルーズコントロールシステムの機能とパフォーマンスが大幅に改善されました。第2世代パナメーラでは、1台（通常はフロントセクションの中央に設置）ではなく、2台のレーダーセンサーが使用されています（左右のバンパーに設置）。さらに、アダプティブクルーズコントロールはカメラセンサーからの情報も使用します。このような改善によって、前方車両の距離のモニターの信頼性がさらに高まり、横の車線から車線変更して合流する車両をより迅速に検出します。必要に応じて、システムは停止するまで車にブレーキをかけます。パナメーラは、オートスタート/ストップ機能によって自動的に停止することもできます。3秒以上停止すると、ドライバーがアクセルペダルを軽く踏むか、ステアリングホイールのスイッチを操作して、再度発進する必要があります。アダプティブクルーズコントロールは、30 - 210km/hの走行速度で作動し、可能な限りコースティング機能（エンジンニュートラル、クラッチ解除）を使用して燃費を低減します。

安全面で明らかなメリットを提供するレーンチェンジアシスト

レーンチェンジアシストは、リアバンパーの2つのレーダーセンサーを使用して左右後方車線から近づく車の距離と走行速度を検出します。これらの2つのデータから危険を判断すると、関連側のドアミラーに警告灯を点灯して、死角に入る他の車を見逃す危険を低減します。システムは、走行速度が15 - 250km/hのときに70m以内の距離の車両を検出します。

交通標識認識機能を備えたレーンキーピングアシスト

レーンキーピングアシストは、田舎道の最も頻度の高い事故原因のひとつである不注意による走行車線の逸脱の危険を低減します。パナメーラ スポーツツーリスモに使用されるシステムは、走行速度が65 - 250km/hのときにフロントウインドウのカメラによって車線を検出します。インジケータライトを作動せずに車線を外れると、電気機械式ステアリングシステムによって自動的に反対方向に操舵されます。警告音やメータパネルへの警告表示をPCMで設定することもできます。システムには、レーンキーピングアシストと同じカメラを使用する交通標識認識機能も含まれています。